

心の交流

平成 25 年 7 月 3 日（水）秦野市立上小学校

生活科で、老人福祉施設を訪問しました。

参加者 1 年生児童 11 名、2 年生児童 11 名、高齢者 15 名

出会い

児童は緊張気味。高齢者の方からは「かわいいねえ」の声があがりました。

それぞれが自己紹介。



そうめん流し

施設のスタッフの方がそうめん等の準備を、竹は、元上小学校PTA会長の牧石さんが用意をしてくださいました。初めての児童は大喜び。しばらくは食べるのに夢中。慣れてきたら、取ったそうめんを高齢者の方に渡す姿が見られるようになりました。

歌のプレゼント

「校歌」と「With you ありがとう」を児童が歌いました。後日「With you ありがとう」に心が和んだとの感想をいただきました。そして「たなばたさま」をみんなで歌いました。タンバリンや鈴の音も加わり、みんな笑顔でした。





輪投げゲーム

児童と高齢者の方がペアになり、輪投げに挑戦。高得点にガッチリ握手。

握手でお別れ

児童が全員の方と握手。

「またおいで」「ありがとう」と声をかけられ涙ぐむ児童もいました。



学校に戻ってから、簡単なアンケートを実施しました。

Qあくしゅをしたとき、どんなきもちになりましたか

1年生 ・うれしいきもち。どうしてかという、ありがとうっていつから。

・あたたかいきもちになりました。

・なんかちょっとあたたかかった。

2年生 ・ありがとうございます。またくるからね。

・かえるのがさみしい。

・いつまでも元気でいてほしい。なぜかという、103才の人が一人いたからです。

・またここにいつかきます。すてきな人と話せたりしてたのしかったです。

高齢者との交流を通して、「人を思いやる心」「高齢者を大切にする心」を育てたいと思います。可能であれば、イベント的なものでなく、自然なふれあいになるように、継続的に実施していきたいと考えています。